

## ビジネスアイデアの概要

医療の複雑化は目覚ましく、患者・医師の双方に負担を生じている。65歳以上の患者の63%は複数の疾患を有し、異なる診療科の受診に時間的経済的な負担を負う。また、専門医の偏在により医師へのアクセス自体ができない場合がある。一方で、医師の90%以上が他の科への相談の必要性を自覚するとの報告があるが、患者を真に包括的に評価できる場は限定的である。本研究ではAI-Agentと連携したチャットアプリケーションを活用し、患者に継続的につながることができるパーソナルドクターと専門医を提供し、個別化した包括的な医療情報を提供するシステムを構築する。

## ビジネスアイデアを事業化するための課題

- ・ユーザーと支払者の明確化  
患者の自費診療に加え、医師のアクティビティの高いチャネルを活用し製薬企業との連携、アンケート調査業務による企業からの収益獲得を目指す。関連企業のヒアリングと具体的な座組形成が必要。
- ・AI-Agent (ZACHO) と連携したチャットアプリケーションの質の向上  
実査に患者・医師に使用していただながら高速でPDCA回すことができる環境構築が必要。
- ・法規制の整理  
医行為として許される範囲、混合診療と明確に回避できる枠組みの構築が必要

## 事業化の見通し

- ・本サービスの市場規模、ターゲットユーザーの絞り込みを行うことでより具体的なビジネスモデルの構築につなげ事業化を推進する。
- ・既に我々の開発したAI-Agentの支援によりチャットアプリケーション上の模擬患者のレポート作成時間を約80%短縮し論文文化済みである。今後実際の症例における試験運用を繰り返すことで、製品の質を向上させ、製品化に耐えうるサービスが実現可能である。

## 事業者情報

澤野 晋之介

Doctors Summit

## ビジネスアイデア概要図等

専門医のコミュニティを活用したチャットアセスメント

